

射水市教育委員会 4 月定例会会議録

開会日時 平成 2 8 年 4 月 2 5 日 (月)

開会 午前 1 0 時 0 0 分

閉会 午前 1 1 時 5 0 分

会議場所 下庁舎 2 0 1 会議室

出席委員

長井教育長、織田委員、宮原委員、眞岸委員、大代委員

会議事件説明員

寺岡事務局長、杉本教育次長、片岡副参事 (生涯学習・スポーツ課長)、原学校教育課長、
亀谷教育センター所長、原田新湊博物館長、杉本中央図書館長、釣谷給食センター所長、
杉高学校教育課副主幹、菅原学校教育課長補佐、作道生涯学習・スポーツ課長補佐、島
生涯学習・スポーツ課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前 1 0 時、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 教育長の報告

(1) 総務文教常任委員会 (4 / 1 9) の開催状況について

事務局長が出席職員を紹介した。

事務局長が資料 1 に基づき説明した。

3 各課等の報告事項

(1) 平成 2 8 年度教育委員会主要事業について

学校教育課長及び生涯学習・スポーツ課長が資料 2 に基づき説明した。

(2) 小・中学校児童生徒数について

学校教育課長が資料 3 に基づき説明した。

(3) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が資料 4 に基づき説明した。

4 その他

次回教育委員会の定例会開催日時について

日時・場所は、5月24日（火）午後1時30から新湊消防署で会議

会議終了後 旧中伏木小学校内、古文書整理作業視察

5 議事

(1) 平成28年度教育委員会主要事業について

[委員] 学校教育施設整備の今後の見通しは。

[事務局] 基本的には国庫補助が付かない整備は難しいと考えており、採択に向け引き続き国・県に要望していく。近年国は、大規模改造事業より長寿命化事業に補助金を交付する傾向にあり本市においては条件が満たないため補助採択は厳しい状況にある。

[委員] 国庫補助が難しいのであればt o t o（スポーツ振興くじ）等、様々な補助制度を活用し整備を進めてほしい。

[委員] 豊かな人間関係づくり支援においてQ-U調査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）は有効であり期待している。また、実施時期が重要となるため学校にアドバイスしてほしい。

[教育長] Q-U調査の結果をどう活かすかが重要である。

学力向上対策事業、射水っ子音楽活動推進事業は、豊かな人間関係づくりや学力向上に繋がるものであり関連付けながら進めてほしい。

[委員] 放課後子ども教室と放課後児童クラブの違いは。

[事務局] 放課後子ども教室は空き教室を利用し地域の方の協力を得ながら実施する生涯学習的な性質のものである。一方、放課後児童クラブは、帰宅しても家に誰もいない鍵っ子を預かる保育の延長的なものである。

[委員] 放課後児童クラブ指導者研修についての考えと、芸術文化施設の内、新庁舎完成後、市へ移管する施設があるが予算付けはどうなっているのか。

[事務局] 放課後児童クラブ指導者は児童を安全に預かることが使命であることから緊密に連携を取りながら安全な運営に努めている。

新庁舎完成後は文化財以外の所管は市長部局（地域振興文化課）へ移管され、予算執行は新しい課で行われることとなる。

[教育長] 放課後児童クラブについては今年度から教育委員会へ移管された。これは教育委員会への期待の表れであり教育委員会として何が出来るか研究していきたい。

[委員] 放課後児童クラブの視察を実施してほしい。

[委員] これまでは所管が違っていてもあり学校と切り離されていたが、教育委員会へ所管が変更されたことにより学校の負担が生じないか。

[事務局] 教育委員会に移管された意義を考え活かしてまいりたい。また、学校の負担とならないよう学校と十分な協議を重ねてまいりたい。

[委員] 利用料金は。各施設の預かり状況、利用料の一覧を教えてください。

[事務局] 預かる時間によって違いがあり約5,000円前後である。次回利用状況等を

お示ししたい。

[委員] 放課後児童クラブに対する母親の関心は高い。家庭の事情で中には安易な気持ちで預ける方もいる。家庭教育が担う部分もあり、子育てにおいて何が必要なのか考えていく必要がある。

[教育長] 家庭教育アドバイザーの募集についての考えは。

[事務局] 地域振興会からアドバイザーを推薦してもらおうようお願いしているが、集まらない場合は個別に各種団体をお願いしていきたい。教育委員からの推薦もお願いしたい。

[教育長] 大島図書館が閉館となったが、これまでの利用者の動向はどうなっているか。他の図書館で受け入れる体制づくりに努めてほしい。

[事務局] 現在、平成27年度の集計をまとめており、後日報告したい。

[教育長] 新湊博物館の集客対策は。

[事務局] 前年に比べ入館者は増加している。昨年度は道の駅から誘客するための案内看板を整備した。今年度は地域振興会に働きかけ、利用してもらえよう取組を進めていきたい。また、小杉焼の展示についても各種イベントを通じ周知してまいりたい。

[教育長] 関連団体は自分たちの財産を見てもらうことになるため、集客に向けた応援団として協力してもらおうよう働きかけてほしい。

(2) 小・中学校児童生徒数について

[委員] 昨年、文科省が提示した学校の適正規模に関する手引から見た本市の状況は。

[事務局] 文科省は平成27年1月に「公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を提示した。これにより平成22年度に作成した射水市学校等のあり方に関する提言書を見直す必要があるか事務局内で協議したが、結果的には変わらないものになるため、これまでの提言を生かすこととした。

午前11時50分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。